

## 第5回「第4次産業革命スキル習得講座認定制度」に関する検討会 議事要旨

日 時:令和3年1月7日 10時00分～11時10分  
場 所:製造産業局第4会議室(オンライン併用)

### 出席者(敬称略)

座 長	川田 誠一	東京都立産業技術大学院大学 学長
委 員	井野 淳介	日産自動車株式会社 電子技術・システム技術開発本部 ソフトウェア開発部 部長 一般社団法人JASPAR 運営副委員長
委 員	小杉 礼子	独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究顧問
委 員	高田 広章	名古屋大学未来社会創造機構 教授
委 員	武石 恵美子	法政大学キャリアデザイン学部 教授
委 員	湯川 正史	公益社団法人自動車技術会 事務局次長

### 議 題

1. 開会
2. 個別の対象分野について(IT利活用分野等)
3. 自由討議
4. 閉会

### 議事メモ

2. 個別の対象分野について(IT利活用分野等)  
・事務局より資料に基づいて説明

### 3. 自由討議

(自動運転分野追加について)

- ・ 自動車とソフトウェアの両方がわかる人材が必要な中、今回の取組は即戦力人材の育成・獲得に繋がるものとして期待している。
- ・ 既存のIT業界の人に、自動車業界の重要性や魅力を分かってもらい来てもらうという意味では、こういう講座があって、国から認定されているのは、技術者1人1人にとってのキャリアアップ・キャリアチェンジを促すということで、意義は大きい。
- ・ 今回自動運転分野が追加されれば、ITと自動車をつなぐキッカケになると思う。日本の自動車業界・日本全体の産業競争力強化に寄与する意味で、今回の取組は意義深いと思う。
- ・ 今回のような取り組みは国として、自己啓発の意欲の低い労働者にキャリアアップの方向性を示すうえで非常に重要だと思う。産業界としてもぜひ講座修了者に講座を受講する意味がはっきりと分かるような対応をしっかり検討してもらいたい。

(講座受講者のキャリアビジョン等について)

- ・ 需給ギャップを埋めるため、潜在的な層に訴求していかなければならない中で、専門性がない人にとって、自動運転分野は限定された専門性のように映り、今この能力を身に付けることが自分の5年後、10年後にどうなるのかというキャリアの広がりがどうなるのかを明確化するよう工夫したらよい。

- 自動車分野は産業規模が大きく、新しい技術開発投資ができる分野のため、自動車分野で技術開発投資されそこでできたものが他分野へ波及していく。今自動車をターゲットに学んだことが、10年後、15年後、他の分野で活かしていきけるのは確実かと思う。
- 専門性が無い人がスキルレベルを獲得することに対し、どのくらいの期間がかかるのかがよく分からなかった。
  - 素養が0の状態からいきなりレベル4に上げるのは難しいため、自動車業界内外に存在する一定の素養を持った方を前提とした上で、講座を企画していくということかと思う。他の講座同様、レベル3相当の方を対象として、レベル4相当の訓練をする設計も想定している。

(その他)

- 厚労省の教育訓練給付金制度との関係でいうと、教育訓練給付金制度はそもそも個人のキャリア形成に資する、能力開発を促進するものであり、その中で中長期的なキャリア形成に資するということで、専門的かつ実践的というのが求められているが、今見ている範囲ではそれが十分担保されているかと期待している。

⇒本検討会の議論の結果、IT 利活用分野へ「自動運転分野」の追加が決定した。

以上

お問合せ先

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1

製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室

TEL 03-3501-1618

FAX 03-3501-6691

E-mail [itshann@meti.go.jp](mailto:itshann@meti.go.jp)